

No. 1 旧上瀬谷通信施設地区道路関連の案件概要

議第 1384 号 横浜国際港都建設計画道路の変更

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・3	環状4号線	金沢区六浦一丁目	青葉区鉄町	栄区上郷町 戸塚区原宿四丁目 泉区上飯田町 瀬谷区瀬谷町 緑区十日市場町 青葉区青葉台一丁目	約36,550m	地表式	4車線	18m	京急本線と立体交差 京急逗子線と立体交差 JR根岸線と立体交差 JR横須賀線と立体交差 JR東海道本線と立体交差 JR東海道貨物線と立体交差 市営地下鉄1号線と立体交差 相鉄いずみ野線と立体交差 JR東海道新幹線と立体交差 相模鉄道本線と立体交差 JR横浜線と立体交差 東急田園都市線と立体交差 自動車専用道路と立体交差6箇所 幹線街路戸塚大船線と立体交差 幹線街路国道1号線と立体交差 幹線街路国道16号バイパス線と立体交差 幹線街路国道246号線と立体交差 幹線街路と平面交差28箇所	路線の幅員 11～31m
	車線の内訳		2車線			約14,640m					
			4車線			約21,910m					
	なお支線1号線		瀬谷区北町	緑区長津田町		約330m	地表式		15～18m		
	支線2号線		緑区長津田町	緑区長津田町		約120m	地表式		12m		
その他		なお、緑区十日市場町地内に駅前広場を設ける。 なお、青葉区青葉台一丁目地内に駅前広場を設ける。								面積 約8,700㎡ 面積 約6,600㎡	

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・3・53	上川井瀬谷1号線	旭区上川井町	瀬谷区瀬谷町		約2,600m	地表式	2車線	26m	幹線街路と平面交差3箇所	
	3・3・54	上川井瀬谷2号線	旭区上川井町	瀬谷区瀬谷町		約1,160m	地表式	2車線	26m	幹線街路と平面交差2箇所	

(内容)

旧上瀬谷通信施設地区における土地利用転換に伴う交通需要に対応するため、地区内の3・4・3号環状4号線の区域を変更するとともに、3・3・53号上川井瀬谷1号線及び3・3・54号上川井瀬谷2号線を追加します。

議第 1385 号 横浜国際港都建設計画道路の変更

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な 経過地	延長	構造 形式	車線の 数	幅員	地表式の区間における鉄道等との 交差の構造	
幹 線 街 路	3・3・9	国道 16 号線	金沢区 六浦東 一丁目 (横須 賀市界)	瀬谷区 五貫目 町(大和 市界)	金沢区 片吹 磯子区 森二丁目 西区 南浅間町 保土ヶ谷 区 西谷町 旭区 上川井町 瀬谷区 北町	約 27,170m	地表式		22m	金沢シーサイドラインと立体交差 J R 根岸線と立体交差 J R 東海道本線と立体交差 J R 横須賀線と立体交差 相模鉄道本線と立体交差 J R 東海道貨物線と立体交差 相鉄・J R 直通線と立体交差 J R 東海道新幹線と立体交差 自動車専用道路と立体交差 4 箇所 幹線街路環状 2 号線と立体交差 幹線街路国道 246 号線と立体交差 幹線街路平面交差 19 箇所	路線の 幅員 18~28m
						車線の数の内訳					

(内容)

旧上瀬谷通信施設地区における土地利用転換に伴う交通需要に対応するため、本路線の区域を変更します。

また、今回の変更に合わせて、一部区間の車線の数を 4 車線と定めます。